

*******制限事項通知統合版*******
 *
 * 本文書は、NECマイクロコンピュータ技術文書閲覧サービスの開始にあたり、*
 * 既に通知させて戴いておりました制限事項を1つの文書にまとめたものです。*
 * 2002年8月19日時点のすべての制限事項が掲載されています。*
 * (今回通知する製品は、32ビット版製品のみとなります。 ID78K0では、V2.30以降*
 * が32ビット版製品です。)*
 *

NEC マイクロコンピュータ技術情報

78K0 シリーズ統合ディバガ ID78K0 使用制限事項		SBG-TT-0162 号	1 / 1	
		2002 年 8 月 19 日		
		日本電気株式会社 NEC エレクトロニクスデバイス システムLSIソリューション技術本部 マイクロコンピュータグループ		
文書分類	<input type="radio"/> 使用制限事項	<input type="radio"/> バージョン・アップ	<input type="radio"/> ドキュメント修正	<input type="radio"/> その他
関連資料	ID78K シリーズ 統合ディバガ V2.30 以上 操作編	U15185JJ1V0UM00		
	ID78K0 統合ディバガ V2.30 使用上の留意点	SBG-T-2481		

CP(K), O

1. 対象製品

ID78K0 V2.30

2. 制限事項一覧

制限事項の履歴とその詳細情報が含まれました制限事項一覧を別紙1に記載します。

以上

ID78K0 の制限事項一覧

1. 製品履歴

No	仕様変更・追加 / 不具合事項	該当バージョン
		x : 該当する : 該当しない - : 対象外 V2.30
1	イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合	x
2	シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合	x
3	ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合	x
4	逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合	x
5	ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合	x
6	ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合	x
7	800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合	x
8	文字列の表示が途中で切れてしまう不具合	x
9	シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合	x
10	左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合	x
11	ソースファイル名に“-” “+”を含む場合、ブレークポイントが設定できない不具合	x
12	ディバッガが異常終了する不具合	x
13	カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合	x
14	ソースウィンドウにソース内容が表示されない不具合	x
15	ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合	x
16	関数の引数が配列のとき、Watch, Local での表示が不正になる不具合	x
17	スナップ・ショット・イベントのあるトレースが全トレースになる不具合	x
18	ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合	x
19	ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合	x
20	SFR 領域は、疑似 RRM できない不具合	x
21	メモリ検索が中断する不具合	x
22	func#var 形式のシンボルをアドレスに変換できない不具合	x
23	IAR 社製コンパイラ/アセンブラで生成した LMF が読めない不具合	x
24	実行が止まらなくなる場合がある不具合	x
25	コンフィグレーションダイアログで Stack の再設定が出来ない不具合	x
26	イベント・リンク・ダイアログのイベント設定数の不具合	x
27	イベント・ダイアログで EventStatus に " Execution " 指定した場合の不具合	x
28	内部 RAM の一部が、Watch ウィンドウから変更できない不具合	x
29	Watch ウィンドウで、浮動小数点変数の 0.00001 より小さな値は 0 と表示される不具合	x
30	Snap-Shot に対して 8Bit 外部トリガ・イベントが設定できない不具合	x
31	Watch ウィンドウのビット変数/ビットフィールドの表示の桁が間違っている不具合	x
32	uPD178048 で OSD 表示が文字化けする不具合	x

2 . 使用制限事項の詳細

No . 1 イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合

【内 容】イベント・ダイアログで、アドレス設定エリアの範囲指定に対してマスク値を設定できません。その場合エラーあるいはワーニングを出力しません。イベントはマスクを無視した形で設定します。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 2 シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合

【内 容】シンボル変換ダイアログで SFR ビットを指定した場合、エラーとなりますが、間違ったエラーメッセージ " F002(f), 不正な演算式です " を出力してしまいます。

【回避策】SFR ビットのアドレスは、リンクが出力したマップファイルでご確認ください。

【改善策】制限事項とします。

No . 3 ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合

【内 容】ソース指定ダイアログで行番号の数値の記述が不正である場合、または省略した場合、エラーを表示せずに先頭行に移動してしまいます。

また、行番号がファイル行番号より大きい場合、エラーが表示されず、行移動しません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 4 逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合

【内 容】逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレス「0xFFFF」を表示しません。

【回避策】回避策はありませんが、「0xFFFF」は SFR 領域なので問題はありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 5 ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合

【内 容】ウォッチ・ウィンドウで、構造体、配列等のポインタのメンバーを表示した状態でプロジェクト・ファイルにセーブしても、プロジェクトファイルロード時にはメンバーを表示した状態では表示しません。また、そのときの各メンバー個別の表示進数もセーブしていません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 6 ソース・ウィンドウで混合表示にした場合の不具合

【内 容】ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合、下向き（ファイル末方向）にスクロールを行うと、余分なスクロールが発生し、画面表示される行番号が連続しないことがあります。また、ソースの最後尾を表示している場合、混合表示ではスクロールを使用しないと最後まで表示することができません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 7 800×600 以下の画面ではステータスの一部を表示できない不具合

【内 容】800×600以下の画面ではステータスの一部を表示できません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 8 文字列の表示が途中で切れてしまう不具合

【内 容】ソース・ウィンドウ、逆アセンブル・ウィンドウ、ウォッチ系ウィンドウで一行に表示できる文字数は319文字までとなっています。そのため 320文字以上の表示は途中で切れてしまいます。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 9 シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合

【内 容】あるアセンブラ・ソース・ファイルでのみ有効なEQUシンボル定義を行った場合、そのシンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できません。

【回避策】EQU シンボルをヘッダ・ファイルに定義するなど、すべてのアセンブラ・ソース・ファイルから参照できるようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 10 左右矢印キーでスクロール操作すると表示が乱れる不具合

【内 容】SFRウィンドウやレジスタ・ウィンドウなどの「データ値表示 / 設定エリア」の横幅が狭いとき、左右矢印キーでスクロール操作すると、「データ値表示 / 設定エリア」の表示が乱れるときがあります。

【回避策】ウィンドウの横幅を広げて操作してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 11 ソースファイル名に“-” “+”を含む場合ブレークポイントが設定できない不具合

【内 容】ソース・ファイルに“-”(マイナス)または“+”(プラス)を含むファイル名が存在する場合に、ディバッガ上でブレークポイントを設定することができません。

【回避策】ソースファイル名を、“-” “+”を含まないものに変更してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 12 ディバッガが異常終了する不具合

【内 容】ディバッガの仕様では、ダウンロードするロードモジュールと同名で、拡張子が“.tcl”であるスクリプト・ファイルが存在した場合、ダウンロード直前にそのスクリプトを自動実行します。スクリプト内で同ロードモジュールをダウンロードする記述を行っていると、ダウンロードを無限に繰り返してしまい、ディバッガが異常終了してしまいます。

【回避策】ダウンロード直前に自動実行しないスクリプト・ファイルは、ロードモジュールのファイル名と同じにならないように変更してください。また、ダウンロード直前に自動実行したいスクリプト・ファイルには、ロードモジュールをダウンロードする命令は記述しないでください。

【改善策】制限事項とします。

No. 13 カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合

【内 容】カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されません。Survey List に 21 文字以上のアイテムを含め、計 12 アイテム以上追加すると、最下位行が水平スクロールバーに隠れて表示されません。(この現象は、英語版 Windows 使用の場合のみ発生します。)

【回避策】リストの最後に 1 アイテム以上のダミーリストを追加してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 14 ソース・ウィンドウにソース内容が表示されない不具合

【内 容】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダに入っているソース・ファイルが、ソース・ウィンドウに表示されない場合があります。

(ソース内容が表示されていないウィンドウが表示されます)

【回避策】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダを使用しないようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 15 ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合

【内容】ソースサーチ・ダイアログ内のサーチファイル機能は使えません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 16 関数の引数が配列のとき Watch, Local ウィンドウで表示が不正になる不具合

【内容】配列を関数の引数として宣言したとき、その配列の内容を Watch ウィンドウ、Local ウィンドウで参照しようとする、異なったメモリ位置の内容を表示してしまいます。

【回避策】関数の引数として配列変数を受け取る(参照する)場合には、引数に配列宣言をせずにポインタ宣言を行って、ポインタアクセスを行うようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 17 スナップ・ショット・イベントのあるトレースが全トレースになる不具合

【内容】スナップ・ショット・イベントを設定し、条件トレースを選択しても、全トレースとなってしまう。全トレースの中にスナップ・ショット・イベントの結果が含まれる形になります。別の条件トレース(区間トレースやクオリファイトレース)が設定されていれば、全トレースにはならず、条件トレースとスナップ・ショット・イベントの結果が得られることになります。

【回避策】スナップ・ショット・イベントを設定する場合は、ダミーでも良いので何か条件トレースを設定するようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 18 ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合

【内容】ソース・テキスト・ウィンドウを混合表示状態にしたとき、逆アセンブル部の編集を行うことはできません

【回避策】アセンブル・ウィンドウで編集してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 19 ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合

【内容】ソース・テキスト・ウィンドウで開くソースファイルは、[オプション]-[デバッグオプション]の「ソース・パス」に設定されているフォルダ内のソース・ファイルを優先して開きます。

C:¥TEST¥TEST.C C:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

C:¥TEST¥TEST.LMF

D:¥TEST¥TEST.C D:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

D:¥TEST¥TEST.LMF

[オプション]-[デバッグオプション]の「ソース・パス」は、C:¥TEST¥を設定

[ファイル]-[ダウンロード]で、D:¥TEST¥TEST.LMF を開いても、表示されるソースファイルは、C:¥TEST¥TEST.C となります。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 20 SFR 領域は疑似 RRM できない不具合

【内容】SFR 領域は、疑似 RRM(リアルタイム・RAM・サンプリング機能)できません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 21 メモリ検索が中断する不具合

【内容】メモリ検索で、検索対象アドレスがノンマップ領域や SFR 領域に掛かったとき、メモリ検索が中断されます。

【回避策】検索範囲にノンマップ領域や SFR 領域を含めないようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 22 func#var 形式のシンボル(func:関数名、var:変数名)をアドレスに変換できない不具合

【内容】func#var 形式のシンボル (func:関数名、 var:変数名) をアドレスに変換することができません。

【回避策】 var (変数名)のみで変換してください。関数内 static 変数などで、同名の変数名が他に存在するときは、PC が当該関数内に存在しているときに変換してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 23 IAR 社製コンパイラ/アセンブラで生成した LMF が読めない不具合

【内容】IAR 社製のコンパイラ、アセンブラで生成した、LMF ファイルが読み込めない場合があります。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 24 実行が止まらなくなる場合がある不具合

【内容】自動継続実行中に[実行]-[スローモーション]を選択すると、[実行]-[ストップ]を選択しても(停止ボタンを押しても)プログラムが停止しません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 25 コンフィグレーションダイアログで Stack の再設定が出来ない不具合

【内容】コンフィグレーションダイアログで一度 Stack 設定を行うと、Stack の再設定を行うことができません。「0400(F): 指定した条件が不正です」エラーが表示されます。

【回避策】ID78K0 を再起動して、Stack を設定しなおしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 26 イベント・リンク・ダイアログのイベント設定数の不具合

【内容】イベント・リンク・ダイアログの各フェーズに 2 イベント以上設定出来てしまいます。リンク・イベントをイネーブルにした時に、“0404 同時に使用可能なイベント条件の設定個数を超過しています。”のエラーを表示します。

【回避策】イベント・リンク・ダイアログの各フェーズには、一つのイベントのみ設定してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 27 イベント・ダイアログで EventStatus に " Execution " 指定した場合の不具合

【内容】イベント・ダイアログの Event Status に “ Execution ” を指定した場合、アドレス範囲指定が出来てしまいます。このイベントをイネーブルにした時に、' 0400 指定した条件が不正です。 ' エラーを表示します。

【回避策】“ Execution ” を指定した場合、アドレス範囲は指定しないでください。

【改善策】制限事項とします。

No . 28 内部 RAM の一部が Watch ウィンドウから変更できない不具合

【内 容】SFR 領域などと隣接する内部 RAM の最終アドレスから上位 4 バイトを Watch ウィンドウから値を変更することができません。

たとえば、以下のように FF00 から SFR 領域であれば、FEFC - FEFF が変更できません。(FFの部分)

```
Addr +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
FEE0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
FEF0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 FF FF FF FF
FF00 ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ??
FF10 ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ?? ??
```

【回避策】メモリウィンドウから、変数の値を変更してください。

【改善策】制限事項とします。

No . 29 Watch ウィンドウで浮動小数点変数の 0.00001 より小さな値は 0 と表示される不具合

【内 容】Watch ウィンドウで、浮動小数点変数が 0.00001 より小さな値になった場合、0 と表示されてしまいます。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 30 Snap-Shot に対して 8Bit 外部トリガ・イベントが設定できない不具合

【内 容】Snap-Shot に対して 8Bit 外部トリガ・イベントを設定すると、エラー・メッセージが表示され、設定することが出来ません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 31 Watch ウィンドウのビット変数/ビットフィールドの表示の桁が間違っている不具合

【内 容】ビット変数やビットフィールドを、Watch ウィンドウに表示させると、1 桁ではなく 16 桁(2進数で、0b1ではなく 0b0000000000000001)で表示されます。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 32 uPD178048 で OSD 表示が文字化けする不具合

【内 容】uPD178048 で CROM に転送したはずのデータが、画面に表示すると文字化けしています。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。